

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者A】

所属	経済	学部	経済経営	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	イギリス	留学先大学名	アベリストウィス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	<p>僕が神戸国際大学に入学しようと思った理由の中に1つは海外留学がしたいという理由がありました。また国際大学ということもありここでは異文化な交流をしてみたいと考えていました。このグループ型研修に参加したきっかけは、英語力を高めたいのもそうでしたが、やはりいろいろな人とのつながりを持ち自身の活動域を広げたいということにありました。僕の英語力はまだまだですが、現地の人と積極的に会話をしてみて、異文化交流をしたいと思いました。</p>
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	<p>イギリスでの生活はとても楽しかったのですが、現地の人との会話をするのがやはり最初は戸惑いました。一ヶ月間の滞在となると現地の人と会話しないということは免れることはできないと思います。なので簡単でも良いから伝えることを意識しました。時には自分から直接相手とコンタクトをとることも試みました。現地の人たちはとても優しく対応してくださいました。週末は自由な時間が多く、授業もないので下町に出かけたりして、食事やショッピングなども楽しめることができました。寮から徒歩5分歩いたところにコンビニがあり、気軽にいくこともできたのでとても便利でした。</p>
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	<p>留学をしてたくさんの人と異文化交流をしてみることが僕の留学の目標でした。加えて自分の英語のスキルアップ、モチベーションに繋げてみようかと考えてみました。実際に一ヶ月という研修を終えましたが、感想では期待以上の成果があったのではないかと思います。大学の授業で日本と僕たちが滞在したウェールズについての自然環境をテーマにしたポスター作りで奮闘しました。その際に町の人からたくさんのお話を聞き、情報収集することができまともりのある仕上がりになったと思います。大学の職員さんや生徒さんたちを始め、町の人たちはとても親切に僕たちと接してくれてすぐに現地での生活に慣れることができました。ですので異文化交流をしたいと思っていた僕の目標は早い段階から達成することができました。</p>
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	<p>イギリスに留学してみて、これからの英語学習のモチベーションに繋がりました。現地の人ともっともっと会話をしたいと思いましたし、自分はまだまだ力不足であることを再認識しました。ですが自分の英語力でも現地の人たちと意思疎通することもでき伸びしろを感じました。これからの英語のスキルアップを目指して精進していきたいと思いました。まだまだこれから海外に行きたいと考えていますので、今回よりもっと会話ができるようにしたいと思います。</p>
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者B】

所属	経済	学部	経済経営	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	イギリス	留学先大学名	アベリストウイス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学した理由は、高校時代からヨーロッパの文化や歴史に興味があり特にイギリスの文化や習慣などに関心があったからです。イギリスといってもウェールズの地方の町だったのでロンドンなどでは味わえない生活にあこがれていました。さらに、現地の人とかかわることが出来ると聞いて英語力も伸ばしたいと思い参加を決意しました。現地での目標は、積極的に現地の人に話しかけ、イギリス人の友達を作ることでした。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業は6人のクラスで大学のカフェなどに行って現地の人とコミュニケーションをとる機会もたくさんありいい経験が出来たと思います。また、アベリストウイスについてのポスターを製作したり、留学生活についてのパワーポイントを製作しました。寮生活は個室のほかにも共同スペースがあり、そこでは料理をしたり友達と会話したりしました。食事は友達と一緒に買い物に行き、寮の共同スペースで料理をしました。寮生活はなんの不自由なく過ごすことが出来ました。
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	留学での目標であった現地の人と友達になることはアベリストウイス大学の生徒は夏休みだったため現地の生徒と触れ合う機会はあまり多くなかったです。イギリス人はとても親切でフレンドリーでした。例えば目が合っただけで手を振ってくれたりし、お店に行ってもどこから来たのなど話しかけてくれる機会が多かったです。驚いたことは日曜日にお店が早く閉まることです。また、先生などは授業が終わったらすぐ帰ること、多く残業という概念がないんだと感じました。また、平日でも街に行くと家族連れが多く不思議に感じました。よくイギリス料理は美味しくないと耳にしますがレストランやカフェなどで食べた料理はとてもおいしかったです。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	街や駅で困っている外国人がいたら助けをあげたり、日本でも英語でコミュニケーションを積極的に取っていき自分の英語力の向上に繋げていきたいと思っています。また私は将来 外国で仕事をしたいと考えているので卒業後ワーキングホリデーに行きたいと考えています。あと1年半の大学生活で自分の英語力を伸ばして色々なことに挑戦していきたいです。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者C】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	イギリス	留学先大学名	アベリストウィス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私は映画が大好きで、イギリスが舞台になっている映画をたくさん観ていたので小さい時からイギリスに行くのが夢でした。映画で見るイギリスと現地で実際に見るイギリスの違いや良いところをこの目で確かめて、本物の海外を体験してみたいと思い留学をしました。また、アジア研修に参加した時に手厚いサポートと一生の思い出に残るような素敵な体験をすることができたので、もう一度この海外研修に行きたいと思い、一人で不安でしたが英語初心者でも大丈夫と聞き、挑戦することにしました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	月曜から金曜日まで9時から12時30分まで授業があり、特別プログラムがあるときは昼休憩後16時まで授業が続きます。すべて英語で授業が行われるので特にリスニングとスピーキング力を鍛えることができ、とても勉強になります。授業が終わった後は自分で決めて参加することができる楽しいプログラムがあり、日本ではできない体験をすることができます。寮では、自分たちで買い物に行き、料理を作ったりします。私たちの寮はみんなで食べる日と作る当番などを決めて料理をしていました。KIUの仲間との絆がとても深まります。
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	私は英語がとても苦手で、英語を喋ることへの恐怖心を持っていましたがそれがなくなり、間違えることを恐れず話してみることが出来るようになりました。授業でリスニングとスピーキング力をつけることができるので日本の英語とアメリカ英語、イギリス英語の違いを学ぶことができました。この日本英語は海外ではこのように発音すれば通じるのかなどの発見がたくさんありました。寮生活では団体行動の難しさとみんなが気持ちよく楽しく過ごすにはどうしたらいいかが改めてたくさん学べました。団体行動が得意な人ばかりじゃないし、ゆっくり休みたい人もいれば、みんなと思い出をたくさん作りたいたい人もいたので話し合いなども寮でしながら、1か月楽しくする工夫をみんなで作ることができました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学で学んだ本場の英語を自分のものにし、さらに、英語力を伸ばしてまたイギリスに行きたいです。イギリス以外にも色んなところに行ってたくさん思い出を作りたいです。本場の海外の良いところも悪いところもしっかり自分の目で見ることで次海外に行くことができたならもっと楽しめるようにしたいし、気をつけれるようにしようと思います。また、今回の寮生活で得た、一から新しい友達を作ることや集団行動の難しさ、楽しさは必ず将来に活かせる時が来ると思うので忘れないでおこうと思います。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者D】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	イギリス	留学先大学名	アベリストウイス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私は、海外に興味があり、ずっと留学に行きたかったのですが、コロナでプログラムがなくなってしまい3年生になってやっと行くことが出来ました。今回の留学は、初めてだったため、経験として海外で1か月生活することを目的として行きました。しかし、実際行ってみると生活することは私が思っていた以上に簡単で、すぐに馴染めました。3日ほど経ってから1か月無駄にしないためにも”積極的に話しかける”という目標を持ち、理解できなかったことなどを積極的に聞き直したりして1か月過ごしました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	アベリストウイス大学では、平日は授業を受けて休日は土曜日が大学が提供してくれる自由参加のツアーがあり、日曜日がフリーでした。平日の授業は午前までだけの日もあり、その日は大体午後自由参加のプログラムがありました。午後の授業は、教室で受ける授業ではなく、グループに分かれて山に登ったりと自然と触れ合ったり、日本食やウェールズの食事を自分たちで作って食べるなどのソーシャルプログラムでした。寮では、キッチンが共有なのでみんなで自炊して夜ご飯を食べたり、夜に集まってトランプやお話でとても盛り上がりました。共有スペースのおかげでさらにみんなと仲良くなれました。
3. 留学の成果 (目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	今回の留学での私の目標は”積極的に話しかける”でした。実際に取り組めるようになったのは3週間目くらいからで、最初の1週間は聞き取ることに精一杯ですぐに返事や自分の話したい文章を考えることが出来ませんでした。しかし、1週間目が過ぎたところから、担任の先生やよく会ったら話してくれるボランティアの生徒の人たちの口癖やしゃべり方など特徴があることがわかり、それを踏まえて聞いていると聞き取りやすくなり、さらに理解して会話できるようになりました。わからない単語や理解できなかった部分は、正直に理解できなかったと言うと優しい英語で言い直してくれました。私は単語力があまりないため不安でしたが、現地の人は意外と簡単な単語で会話していて、思った以上に内容を理解できました。目標を確実に達成したとは言いきれませんが、毎日話す担任の先生には特に、積極的に話しかけて自分の休日や午後の過ごし方などを共有できたかなと思います。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私は将来海外で働きたいのですが、今回の留学経験を活かして、まずは積極的になることから始めるべきだと感じました。いざ話そうとすると頭の整理が追いつかず結局チャンスを逃してしまうことがあったため、そうならないように積極的に、そして不安にならないようにさらに英語の勉強をしたいです。そして今回の留学で初めてシェアハウスを経験しましたが、楽しいだけが全てじゃないことを知ることが出来ました。大学を卒業してからは、1年間ワーホリに行くことを考えていますが、そこでは全く知らない他国の人とシェアハウスをすることもあるので、寮生活での経験も活かしていきたいです。
5. 自由記述	一緒に行ったメンバーのおかげでさらに楽しい留学になりました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者E】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	イギリス	留学先大学名	アベリストウイス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	以前から、イギリスの同じ島国でありながら日本とはまるで違う歴史や文化に非常に興味があり、今回の研修に参加しました。英語の上達も無論今回の目的ではありましたが、今回の一ヶ月という期間においては歴史や建築、文化について触れる目的の方が重要でした。しかし英語の上達も目標、目的のひとつではあったため、現地の飲食店、販売店での受け答えができるようになる事を目標として今回の研修に臨みました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地では当然ながら英語の授業でしたが、ただ聞くだけじゃないグループワークがメインの授業でした。夏休み中の一ヶ月間だけの特別授業だからというだけかもしれませんが、自分の意見をしっかり言葉にしなければならないグループワーク方式での授業は日本ではあまりない、海外らしいと感じました。またたまたま授業中に外に出て自然に触れながら授業も行いました。アベリストウイスでは道端にブラックベリーが生えており、住人やそこを通る人々が次々にブラックベリーをもぎ取って食べる様子がとても面白かったです。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など	渡航前に「一人でカフェの注文ができるようになる」という目標を自分の中で掲げており、一ヶ月の間でなんとか達成できたように思います。というも注文と言っても自分の食べたいものを言うだけなので、さほど難しくはありませんでした。自分の中で劇的に変わったなと感じたのは英語の発音でした。元々ものまねが得意だったので、先生や現地の方々と話したり、遊んだりしていく中で自然と真似をして自分の発音が劇的に改善されていくのが分かりました。素直にうれしかったです。また他校の日本人学生だけでなく、他の国の留学生と交流した際にも「いい発音だね」といわれたのがとてもうれしくて、本当にイギリスに来て良かったなあと思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	上記の体験をきっかけに英語に対するモチベーションがかなり向上したので、今後も英語を学びつつ、他の言語も習得しようと考えています。今の所はアジア圏なら韓国語、中東圏ならトルコ語、ヨーロッパ圏ならフランス語…と考えています。またイギリスの歴史や建築、文化についても一ヶ月では触れられる量に限りがあるので、今後ワーキングホリデーなどを利用してもっとイギリス、もとい海外の事々について触れることができたらと思います。
5. 自由記述	ありがとうございました。

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者F】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	イギリス	留学先大学名	アベリストウィス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	海外に行ったことがなく、前からずっと行ってみたいと思っていたのと、自分の英語力が低いこともあり会話ができるように少しでも近づきたかったから。勉強だけでなく、小さい頃から憧れだったプレミアリーグの舞台にいける、その人達と同じような生活ができるということや、数日の旅行とは違って1ヶ月という期間で自分がどのくらい成長できるか知りたかった。 将来は長期の海外留学や生活することなどを視野に入れていたので、初めての経験として研修参加は必要だと思いました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地では普通の授業はもちろんですが、毎週3日か4日ほどsocial programやinteresting programなど自然に触れ合いながら日本の大学では体験できないようなことを沢山できた。現地の大学は1つの休み時間が30分あって毎回休む時間では大学内のカフェに行ったりできる時間が沢山あった。下町には海があり、現地の人と話す機会も多く、とても会話の練習になったし、寮でもみんなとても仲良くなり協力しながら毎日楽しく生活できた。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	今回の留学の目標は現地の人に自分から積極的に話しかける、そこからリスニングやスピーキング能力をあげる、何を言ってるかわからなかったり、わからないことは積極的に聞きに行く、トーキングする時など基本翻訳などを使わないようにしようと思っていました。留学前からよく使う文は練習していたのもあり、ある程度は発音などは微妙でも伝えることはできたと、日本ではよく翻訳を使うことが多かったのですが、自分でよく考えることが多くなったのでわからない単語は調べるけど文の作り方などは多少はできるようになって、1番成長した部分かなと思います。 もう一つ大きく成長したのはリスニングです。 最初はeat-inとtake outすら早すぎて何言ってるのかわからなくて、日本ではゆっくり話してもらってたと改めて実感しました。わからなくても諦めずに聞き続けたのでとても成長できたと思います。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	英語力はもちろん留学して向上したと思います。こっちでも沢山役立てることはあるけれど、英語の能力だけじゃなくて、実際に英語を感じたからか、毎日少しでも勉強するモチベーションの維持や、すぐに諦めずに色々自分で考えたり、英語で質問しようとする積極性などつけることができました。他にも現地の人は初めましてでも、いきなり色々なことを褒めてくれたりして自己肯定感もとても上がったのでこれを機に日本でも前より自信を持って何か取り組めるようになったと思います。
5. 自由記述	今回の留学で長期の留学も視野に入れようと改めて強く思いました。神戸国際大学に来た時から留学をしたかったので、今回留学できてよかったと思いました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者G】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	2	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	イギリス	留学先大学名	アベリストウィス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学をしたと思った理由は異なる文化や環境で生活し、より広い視野で新しい文化や価値観を理解したいと考えたからです。また、留学は語学力の向上に一番いいと思ったからです。私はこの留学で語学習得をしコミュニケーションスキルを上げることを目標にしていました。現地の言語で生活し、勉強することで、現地での生活で使われる言葉や表現を学べ、英語だけという環境に身を置くことで自ら体験する機会が多くなり自分のコミュニケーション能力を飛躍的に向上させたいと思いました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業では外部の街の人にWalesの気候や自然環境についてのアンケートを取り、結果をまとめポスター制作をしました。また、グループワークではいろいろなことについての意見交換をし協力してできました。そして、毎週土曜日に行なっているツアーに参加してCardiffや Liverpoolを観光しました。Cardiffでは Cardiff Marketや Cardiff castle に行きました。Liverpoolではたくさんの買い物ことができました。アベリストウィスではないようなところがたくさんありました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	正しい文章でのコミュニケーションは取れていなかったと思いますが、苦手な場面で、質問したり、答えたり、消極的にはならなかったのが良かったです。そして、私には単語力が圧倒的に必要だと思いました。今後の課題としてリスニングの時間を増やし単語の習得に力を入れ、授業を通して使っていくようにしたいです。留学を通して、現地の方々の生活風景や仕事の仕方などが日本とは違って見えました。多民族の国だからこそ、人との違いを受け入れ理解しようとする姿が素敵だと感じました。日本で生活するだけでは感じる事の出来ない経験でした。次回は違う国の人々と出会いコミュニケーションをもっと取れるように語学を習得したいと思います。改めてたくさんの方々の文化や生活を知りたいと感じました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	留学では語学力を伸ばすことだけでなく、多様な文化や習慣、生活に触れることができました。日本とは違った生活に触れて、それぞれの生活スタイルや文化の違いを理解できました。将来仕事で外国人と関わるときに文化の違いや価値観の違いを理解してコミュニケーションを取れると感じました。また、現地で困っているとき現地の人々は親切に対応して頂いたので、私も日本に来た外国人観光客が困っていたら丁寧に対応したいと思いました。
5. 自由記述	初めての海外で外国に行くための手続きやパッキングなどの準備、行った先でどのように生活するの

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者H】

所属	経済	学部	経済経営	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	イギリス	留学先大学名	アベリストウィス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	将来、海外で仕事をしてみたいと考えていたため、そこでどのような国や地域があり、知ることで将来の夢を明確にできると考えていました。日本でずっと住んでいたため海外にいったことがなく、文化の違いやその地域の人々の親しみやすさなどの違いを見つけて帰ろうと考えていました。そして現地の人々がどのような言語で話しているのか、そして英語のリスニングやスピーキング力の向上を目指し、日常では少しの会話能力をつけることを目標にしていました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地では、コンビニやスーパーマーケットによく食べ物を買いに行っていたので学校で話す英語とは別の会話があり、楽しかったです。レジでの会話のフレーズが初めはわからなかったので前の人の会話を聞いてそのままを何個かのフレーズでコミュニケーションをとっていました。学校では聞く能力を向上させるような授業が多く、逆に書く勉強は毎日の日記だけでした。話すのは必須ですが、語彙が伸びるのはたくさん使わないといけないので少し苦労しました。
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	今回の留学で目標としていたものはかなり達成できたと感じました。僕はもう次に一年間留学に行きたいと考えているので次のための知識を増やすことが出来たと思います。特に感じたことは現地の人たちは普段から知らない人達でもかなり話すことが多いことだと思います。スーパーマーケットでは前の人々がレジの店員と10分くらい話していることや、町で歩いている人達がお互いに話をしていたことがあり、そう感じました。 あと日本との違いがかなりあり、支払いは基本キャッシュレスだったり、交通では車優先です。あと信号が赤でも車が通っていないと渡るなどがありました。そのような常識になれたため、日本でも信号を無視しそうになります。イギリスの常識は僕にとってはかなり良かったです。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	これから1年後に留学を考えているのでそれまでの勉強の刺激になるのが一つとその1年後に行きたい地域がアイルランドなので次に行く参考になりました。将来は日本の会社の海外支店で働きたいのでそのために今回学んだことを活かして、いろいろな人がいることを忘れずに頑張っていきたいと考えます。
5. 自由記述	今回の留学に行けたことは自分にとってとてもよかったと思います。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者1】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	イギリス	留学先大学名	アベリストウィス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が海外留学をしようと思ったきっかけは主に二つあって、一つ目は異国の文化を知りたかったというのと、もう一つはシンプルに海外に行きたかったからです。一つ目の異国の文化を知りたかったのは、現在グローバル化が進んでいるこの世の中でその国の文化や価値観を知ることはとても大事なことだと思っているからです。そして二つ目のシンプルに海外に行きたかったのは昔から海外というものに憧れを持っていたので今回1ヶ月このイギリス留学に参加できてよかったです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	日本での授業は基本的に教師が前に立って教師が話した内容をノートに書き込んで、重要だと思った場所に線を引いたり、印をつけるのが一般的だと思うのですが、今回1ヶ月イギリスで授業を受けてみて思ったのは、教師ではなく生徒が主体で授業をし、教師はそのサポートをするような感じでした。基本的に見て書くような授業ではなく、ゲーム感覚で授業が大半を占めていました。たまに書いてそれを発表するような授業もありましたが、ほとんどそのような授業はありませんでした。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など	正直留学始まって5日ぐらいはホームシックで結構精神的に辛かったです。しかし、2週目に入る少し前ぐらいからはホームシックなどもなく、気分も良くなって楽しく過ごせたのかなあと感じます。イギリスに行き行ってより感じたことは、イギリス人はやはりフレンドリーな所があるところだと思います。私が困っていると助けてくれましたし、話しかけてもくれたりしました。そして新しく発見できたことは、意外と自分自身料理ができるんだなと思いました。そしてこの留学の目標達成度は70%ぐらいだと思います。100%に達成できなかった理由はシンプルで、英語力がそこまで上達できなかったからです。ですが楽しい1ヶ月を過ごせたので良かったです。今後また留学もしくは旅行でイギリスを訪れた際はまたアベリストウィスに行きたいです。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	この1ヶ月留学で得た経験を今後の人生で明確にこのような場面で活かせることは正直なことを言うと今のところあまり想像できません。しかし絶対にこの留学経験が活かせる場面は少なからずでてくるとおもっています。その場面が出てきた時に思う存分フル活用したらいいのかなと考えています。しかし外国人の方と話すことぐらいは今の自分でもできるのではないかなと考えています。なのでできるだけ多くの外国人の方と交流できたらいいかなと考えています。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者J】

所属	経済	学部	経済経営	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	イギリス	留学先大学名	アベリストウイス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	留学した理由として、一番に英語の上達がある。グローバル化が進み、世界の共通言語が英語であるためこの先必要になると思い、今回の留学を通して、英語の能力を向上させたいと思った。また、海外に行きたいと思っていたこともある。日本で18年間暮らしてきて、他の県に行ったことはあるが日本を出たことはなく、ほかの国ではどのような文化があり生活スタイルなのか気になっていた。そのほかにも一年生の時間のあるうちに行動し、様々なことを経験したいという理由もある。目的は英会話を何の苦労もしないくらいのレベルになるまで英語のレベルを上達させることだ。目標は毎日先生に三回質問をすることだった。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	午前中は英語能力の発達を目的とした授業が行われた。主に四人グループで相手に質問をしたり、協力をしたりして、その日の課題を行った。午後はソーシャルプログラムがあり、大学内だけでなく、アベリストウイスの街に出かけ文化や景色を見るイベントがあった。生活面では、ひとりひとりに部屋が設けられていてキッチンだけが共用スペースだった。みんなが使うものであったため、それぞれが使ったものをそれぞれが掃除をして使った。ある程度上手に使えたと思う。
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	目標の達成度としては、最初の方はダメダメであった。しかし、日々過ごしていくうちに先生との距離も近くなり後半は毎日必ず三回以上質問ができていた。新しく発見したことや感じたこととして、涼しいということです。日本と違って湿度がないため、汗も出にくい。そのため、イギリスの人はよく歩く。三十分程度なら普通に歩く。犬の散歩をしている人がたくさんいる。私は授業でペットについて調べたが、日本は犬より猫がペットにされている数が多いが、イギリスは犬の方が猫よりペットにされている数が多い。特に大型の犬が多く、ウイペットが私のお気に入りだ。他には、自分の考えを主張する機会が多いということだ。授業の大半は生徒の発言する機会が設けられており、先生の説明は最初に少しと、途中で生徒が分からない時に説明があった時だけだ。こういう学習が自由な思想をうみ出しているのだと考えた。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学で学んだことは大きく分けて二つある。一つは英語力の低さだ。日常会話を聞き取るのもやっとなわけて、商売のために英語を使うとなると全然レベルが低いことが分かる。同じ留学生の中に大分大学の学生がいたがその人たちは普段の生徒同士の会話も英語でやっていて、意識の高さが伝わってきた。毎日少しずつでもよいので継続して勉強していきたいと考えた。二つ目は挑戦することの大切さだ。私は後悔をしている。初めから先生に質問しなかったことを。もっと最初から質問ができていれば私の英語力ももっと高まっていたらと思うし、先生との距離ももっと近まり、いい関係を築くことができたと思う。他にも様々なイベントに参加したが参加して後悔して物は一つもない。いい経験だけがあった。日本でも、様々なことに挑戦したい。
5. 自由記述	今回の留学にあたり様々な人に感謝したい。この留学で私が想像していた以上のものを得ることができた自分のいいところだけでなく伸ばさなければならぬところ、課題など今後につながるものがたくさん見つかった。短い期間だったがとても濃い期間を過ごすことができ、私の考えを変えてくれた。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者K】

所属	経済	学部	経済経営	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	イギリス	留学先大学名	アベリストウィス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が今回の夏期英語研修に参加した主な理由は第二言語の修得、異文化理解を深めることでした。留学先の中でもウェールズという地を選んだ理由は私自身がヨーロッパという地に関心や憧れがあったことが大きな決めてとなりました。そして今回の留学プログラムではウェールズという豊かな自然がある中でアベリストウィス大学に通いながら生活することで語学力の向上とともに現地の文化や価値観を学ぶことができると考えたからです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	アベリストウィス大学ではグループワークなどの受け身の授業はではなく参加型の授業が多くありました。また午後にはアベリストウィス周辺の自然に触れる機会や美術館などの現地の文化を学ぶ機会が多く設けてありました。寮での生活では近くのスーパーなどに行き自炊が中心の生活を送りました。買い物の際にも日本とは異なる文化を感じることもできました。現地の方々はとても親しく接してくれ安心して現地での生活を送ることができました。
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	今回の夏期英語研修を終えてまず思うことはプログラムに参加して良かったということです。自分自身が思っていたよりも得られるものが多く、未来に対して視野が広がりました。語学力に関しては自身の語学力の低さを改めて実感しました。ウェールズで生活をする中でコミュニケーションを取れなかった時の悔しさは忘れることができません。その悔しいという気持ちを忘れずにこれからの語学学習に努めていきたいです。またその国ごとに異なる文化があり、伝統や価値観の違いそれを理解できる人間に近づくことができたと感じています。今回のプログラムで学び経験したことを心に留め文化の違いを理解し、受け入れることの重要性を忘れることなくこれからの生活を送りたいと思います。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	まず今回の夏期英語研修の主な目的である語学力の向上をこれからも継続的に取り組んでいきたいと考えています。学内学外ともに他国の文化に触れることができる機会に積極的に参加したり、日々の講義などを通して実践的な語学力を身に付けることができるように今まで以上に努力していきたいです。そして今回の留学で身につけた異文化に対する理解や現地での様々な経験を活かしてグローバル社会で活躍できる人材になりたいと思います。
5. 自由記述	人生にとってよい経験になりました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	イギリス	留学先大学名	アベリストウィス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	<p>僕が留学した理由は、将来英語を喋れるようになりたいからなのと、海外の文化について現地で体感したかったからです。そしてその経験を活かして海外でする商売や幅広い人達とのコミュニケーションなどに活用できたらなと思ってます。そして僕にとってこの留学が初めての海外なので飛行機の搭乗手続きや入国審査などの海外に行くための一連の流れを経験しておきたかったので今回グループ型で海外研修に行かせてもらいました。目標は一人で海外に行き色々な国に行くことです。</p>
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	<p>現地での活動は主に大学内での授業でした。週に一回、観光名所に旅行に行くという感じで過ごしていました。授業内容は英語を使ったゲームで英語を学んで行くというものでした。さらに最後にはクラス内でグループを作りイギリスについてを研究して発表するということをしました。そのトピックについて現地の人たちに話かけてアンケートをとるということもしました。観光名所ではウェールズにあるポウイス城、カーディフ、リバプールにいきました。そこでお土産を買ったり街を散策したりしました。</p>
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	<p>今回の成果としては、個人的にはヒアリングが上達したなと思いました。最初の1週間は先生の言うことがあまり聞き取れませんでした。日が経つにつれ段々聞き取れるようになって行きました。ですがスピーキングがあまり上達しなかったのが悔しかったです。ですが普通に買い物とか交通機関を使ったりができるようにはなったのでよかったです。飛行機の搭乗手続きと入国審査もできるようになったので個人的にはかなり成長したなと思います。あとイギリス人の人たちは本当に紳士でした。扉を開けて先に通らせてくれたり、カードが使えなくて飲み物が買えなかった友達がいたのですが代わりに買ってあげたりとても優しくかったです。たまたま優しい人たちだったかも知れませんがイギリス人の人たちは優しいなと思いました。</p>
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	<p>今回の留学の経験を活かしてもう一度留学したいと思いました。次はアメリカに行きたくて、そこで今回の留学経験を活かして更なるスキルアップを目指したいです。今回はスピーキングがあまり上達しなかったのが次はそこに焦点を当てて取り組みたいです。そして今回の留学で見たもの感じたものを将来働く職場、企業するなら商売相手などに活用して色々な人達とのコミュニケーションを取るのに活かしていきたいなと思います。これからも英語の勉強に励みます。</p>
5. 自由記述	<p>人生にとってよい経験になりました。</p>

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者M】

所属	リハビリテーション	学部	理学療法	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	イギリス	留学先大学名	アベリストウィス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学しようと思った理由は特にありません。私の場合は、特に行きたいとも思っていませんでした。なぜなら、海外が怖かったからです。親からは、価値観が変わると言われました。海外が怖かった私からするとただの戯言のようには聞こえなかったのです。また、兄弟からも一度は経験したほうがいいと言われました。英語に関しても私は得意というわけでもなく右も左もわからない状態でした。日本の文化とは違う海外の異文化に触れたいと思い留学をしました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業では、日本とイギリスの違いについて地域の方々にアンケートを取りポスターを作りました。また、毎週土曜日に行われているイベントでLIVEPOOLやCARDIFFなどを観光しました。アベリストウィスとは違った景色などを見られてとても楽しかったです。日本食とは異なる食べ物が多くありそこでも楽しめることができました。寮では、自分で食材を買ったり、あるいはみんなで買ったりして日本食などを作りました。夜には、みんなでカードゲームなどをし充実したイギリス生活を送ることができました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	私は、今回の留学を通して自分にとってとてもいい収穫ができました。最初は、海外がとても怖いと思いました。しかし、海外でしか味わえない風景や文化などアベリストウィスの人たちの温かさを感じました。いつの間にか、海外への恐怖心が消えてとても楽しんでる自分がいました。今回、留学の機会をくれた両親にはとても感謝しています。もし、留学の機会がなかったら一生海外の良さに気づけずに過ごしていくことになっていました。また、英語は今後生きていくうえで必要なものだと分ってはいましたが、あまり自分から学ぼうとは思いませんでした。しかし、海外の人たちの優しさに触れ英語を喋れたらもっと楽しいんだろうなと思い勉強したいという気持ちになりました。これが今回の留学で得たとてもいい収穫です。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学では、とても地域の方に助けられました。質問をするにしろ、言葉足らずで誤解を招くことが多くあったと思います。ですが、真剣に聞いていただきとても暖かく接してもらいました。先生もとても優しく聞き取りやすいようにゆっくり話してくれました。今後、外国人観光客の方や神戸国際大学の留学生が困っているところを見かけたら話しかけ助けたいと思います。また、いろいろな国に行き今回学んだ経験を生かしていきたいと思っています。
5. 自由記述	よく計画していくこと

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者N】

所属	リハビリテーション	学部	理学療法	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	イギリス	留学先大学名	アベリストウィス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	まず私が留学をしようと思ったきっかけは大きく二つあります。一つ目は、この大学のプログラムにあるからです。私がこの大学に進学しようと思ったきっかけでもあります。二つ目は、大学時代、留学をしていた親の影響もあってか、もともと海外に興味をもっていたからです。次にこの留学の目的は、経験です。一度日本から出て世界を見て、広い視野を得たいと思っていました。その結果、まだまだ未熟ですが、ウェールズの日本とは全く違う点を少しでも見つけられたなと思います。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地では、アベリストウィス大学の個性豊かな先生たちが、さまざまな工夫を凝らした楽しい、また、身になる授業をしてくださいました。授業外では、アベリストウィス市内の紹介や、ビンゴ大会など私たちが飽きない、疲れるほどの遊びや体験の場を設けていただきました。しかし、向こうでの生活は楽しいことばかりではありませんでした。まず、店員さんも当たり前ですが日本語を話してくれないので、買いたいものや、意図が通じない時がありました。そんな時は悔しかったです。
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	私のこの留学における目標は、何事においても積極的に取り組むということでした。自分の中では、まだまだいけたと思っています。待ちゆく人に突然話しかけるのは、だいぶ難易度が高いですが、店員さんにおすすめの料理を聞いたりすることができました。新しい発見は数えきれないほどありました。一番の発見は僕はパクチーが食べられないということです。これ以外にも、ウェールズの人々の人柄や、自然などたくさんの発見があり本当に良い経験になりました。あと感じたことは、英語の訛りです。単に私が聞き取れてないだけならとても恥ずかしいですが、人によっては全く聞き取れなかったです。これは日本でいう方言的な感じもあるのかなとかいろいろ気になりました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私はこの留学での経験を将来に絶対に活かしたいです。いまは理学療法士になるために勉強していますが、まだ何になるかなんてわかりません。そのためにいろいろな体験をしたこの留学の思い出をちゃんと身につけてこれからの英語の勉強などに活かしていきます。また機会があればまた留学に行きたいし、もし将来子供ができたときには絶対留学に行かせてあげたいと思っています。それだけ今回の留学は楽しかったしまた行きたいと思えました。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

《留学前後における意識調査》

留学前後における意識の変化を比較し、留学の成果を検証することを目的に、出発前・帰国後に下記のアンケートを実施。

1. あなたの英語能力についてお伺いします。(英語コミュニケーション能力)

- 全体的な英語のコミュニケーション能力に自信がある。 ()
- 特にリスニングの(聞く)能力に自信がある。 ()
- 特にスピーキングの(話す)能力に自信がある。 ()
- 特にライティングの(書く)能力に自信がある。 ()
- 特にリーディングの(読む)能力に自信がある。 ()

2. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。(自己効力感)

- 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができています。 ()
- 海外留学プログラムの目的を理解している。 ()
- グローバルシーンにおいて実践的な英語を使うことができる。 ()
- ライティング(文書作成、理論的思考)の基本を身につけている。 ()
- 英語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。 ()
- グローバルシーンにおける対人関係(リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む)を構築することができる。 ()
- グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。 ()
- グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。 ()
- これからの就職活動について自信がある。 ()
- 与えられた仕事に責任を持つことができる。 ()

3. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。(異文化意識)

- 自国とは異なる文化に理解をもっている。 ()
- 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。 ()
- 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。 ()
- 自国文化について相手に伝えることができる。 ()
- 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。 ()

4. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。(キャリア展望)

- 自分の適性や能力にあった仕事があるか理解している。 ()
- 自分が就きたい仕事が決まっている。 ()
- 自分が将来就きたい仕事のためにどのような能力が必要かを理解している。 ()
- 国際的な仕事に関心を持っている。 ()

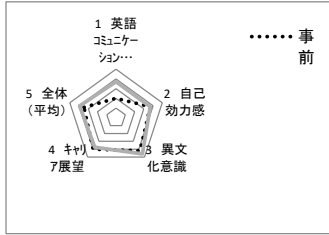
アンケート 回答選択肢

1. 全くあてはまらない
2. あまりあてはまらない
3. どちらでもない
4. だいたいあてはまる
5. よくあてはまる

2023年度夏期英語研修(グループ型)参加前後における意識調査アンケート結果 対象者:14名

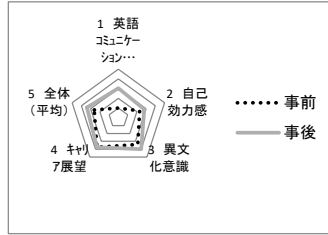
【参加者A】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	3.7
2 自己効力感	3.7	3.7
3 異文化意識	4.2	4.6
4 キャリア展望	4.0	3.8
5 全体(平均)	3.5	3.9



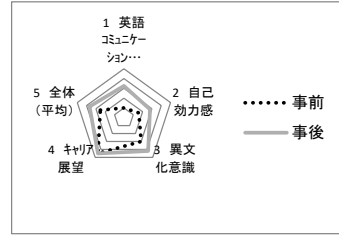
【参加者B】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.0	3.0
2 自己効力感	2.3	2.8
3 異文化意識	3.4	4.0
4 キャリア展望	3.8	3.8
5 全体(平均)	2.6	3.4



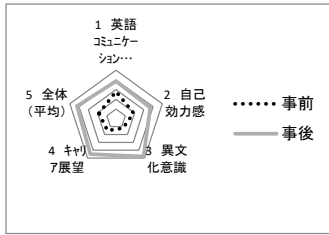
【参加者C】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.0	3.3
2 自己効力感	1.6	2.8
3 異文化意識	3.0	4.2
4 キャリア展望	4.5	4.5
5 全体(平均)	2.5	3.7



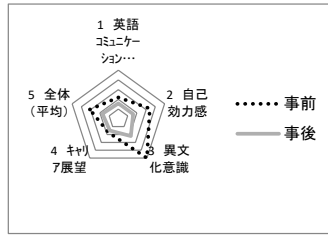
【参加者D】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.8	3.9
2 自己効力感	1.9	3.7
3 異文化意識	1.2	4.8
4 キャリア展望	1.5	4.5
5 全体(平均)	1.9	4.2



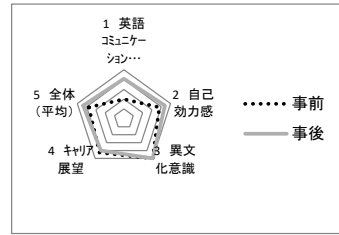
【参加者E】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.2	1.6
2 自己効力感	3.4	1.6
3 異文化意識	5.0	2.2
4 キャリア展望	1.8	1.5
5 全体(平均)	3.1	1.7



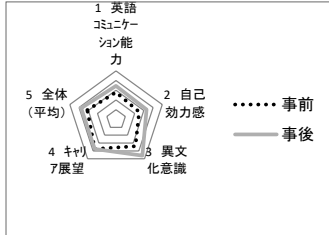
【参加者F】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	4.1
2 自己効力感	3.8	4.4
3 異文化意識	5.0	5.0
4 キャリア展望	4.3	4.0
5 全体(平均)	3.8	4.4



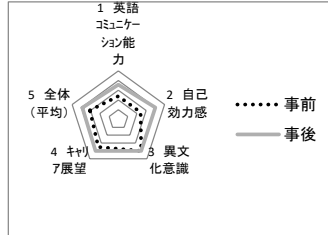
【参加者G】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.8	3.5
2 自己効力感	2.5	3.3
3 異文化意識	3.4	4.6
4 キャリア展望	3.8	3.8
5 全体(平均)	3.1	3.8



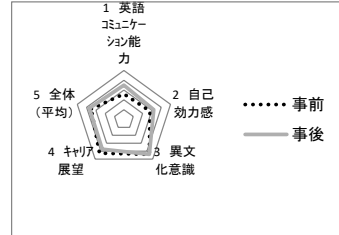
【参加者H】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.4	3.6
2 自己効力感	2.4	4.0
3 異文化意識	4.0	4.0
4 キャリア展望	3.5	4.0
5 全体(平均)	3.1	3.9



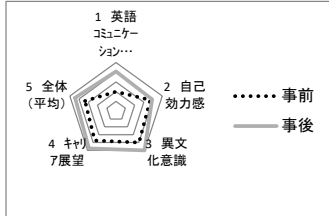
【参加者I】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.6	3.5
2 自己効力感	2.8	3.2
3 異文化意識	4.4	4.4
4 キャリア展望	4.3	3.8
5 全体(平均)	3.5	3.7



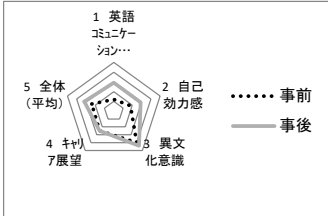
【参加者J】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	4.1
2 自己効力感	3.7	3.9
3 異文化意識	4.0	5.0
4 キャリア展望	3.8	4.8
5 全体(平均)	3.4	4.4



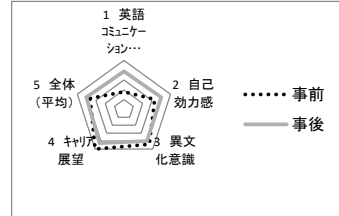
【参加者K】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.2	2.9
2 自己効力感	1.8	2.9
3 異文化意識	4.0	4.4
4 キャリア展望	2.5	2.5
5 全体(平均)	2.4	3.2



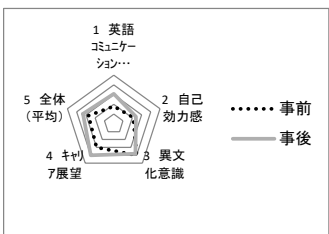
【参加者L】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.8	3.9
2 自己効力感	3.3	4.0
3 異文化意識	4.4	4.0
4 キャリア展望	5.0	4.3
5 全体(平均)	3.6	4.0



【参加者M】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.8	3.1
2 自己効力感	2.1	2.4
3 異文化意識	4.0	3.8
4 キャリア展望	3.0	4.0
5 全体(平均)	2.7	3.3



【参加者N】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.8	3.1
2 自己効力感	2.4	4.2
3 異文化意識	4.2	2.2
4 キャリア展望	4.5	1.5
5 全体(平均)	3.5	2.7

